

外来語、また外来語、またまた外来語……

最近の益々の外来語の氾濫に、あるメル友から次のようなメールが……。

【 外国語を訳したときに、例え同じ意味の言葉であるとしても、これはまったく同じ意味ではないと思います。

最近外国語を訳したら、それが日本語と同じ意味であると勘違いすることです。

日本語での単語はほとんどの抽象名詞が欧米と異なるのにもかかわらず、それをそのまま信じている人が多いことです。

この例としては、自由とか、人権とか、民主主義とかが該当するでしょう。

私に言わせれば、ほとんどの日本人がこれらの意味を正確には捉えずに単に軽く使用しているのだと思います。

ですから、私はこのように単に軽く使用している、自由とか人権とか民主主義とか言う言葉が最近嫌いです。

また、尊厳という単語も日本人には十分に理解できないと思います。なぜなら、尊厳という言葉は、自己アイデンティティーが確立した人間のみ meaning が理解できる代物であり、自己アイデンティティーが欧米の方とは基本的に異なる我々日本人における尊厳とは、おのずと内容が異なるものだと考えます。

阿部さんの意見をお聞かせください。】

私は、次のように返信した。

【 こうした側面のあることは、何となく解ります。

だって、日本語ですら、その本来の意味すら理解しないで使ってる人が、自分を含め多いですよ。

例えば、「自分」。

「自分」という語彙は仏教からきているようですが、自ら生きるために動植物の命をいただくのだからムダな殺生をせずに自らの食する最小限をわきまえているようなことを意味してるとか。

それが、今は好き勝手をしていい自らをいう時に「自分」の語彙を使いがち。

日本語ですらこうですから、まして外来語の意味を正確に把握して使用しているかとなると……。

英語が苦手な私には、外来語を耳にしても、その訳さえ???】

カタカナ語(?)を多く使って話す人を見ると、「あれで会話になっているのかなあ〜」と、私の目には異邦人のように思えてしまう(これ、英語が苦手な私の単なるひがみかな?)。

みなさんは、今のカタカナ語(?)の氾濫に、日頃どう感じていらっしゃいますか?

コメントをお聞かせください。